

海洋情報部研究報告の刊行に当たって

海上保安庁海洋情報部長

西 田 英 男

海上保安庁は、新世紀にふさわしい行政組織を目指し、平成14年4月、「海上保安庁水路部」から「海上保安庁海洋情報部」へと名称を変えるとともに、組織の再編を行いました。

明治4年（1871年）の創立以来、海上交通の安全確保のために、海図をはじめとする水路図誌等の航海用刊行物を提供してまいりましたが、近年では、環境・防災並びに危機管理に対する関心の高まりから、特に地球温暖化などの環境問題、あるいは地震・火山噴火による災害防止への対応等などが求められています。

海洋情報部は、このような社会の変化とその多様なニーズに応え、しかも迅速かつ適切に海洋情報を提供することを目指し、ITを基盤とする情報化社会へ対応するための組織の再編を行うとともに、航空レーザー測深や海洋短波レーダー等の新たな技術を導入して、調査・観測手法の高度化を行い、情報の取得から提供までの時間を短縮し、得られた成果はタイムリーに社会へ発信することと致しました。

このため、昭和41年（1966年）から刊行してきました「水路部研究報告」についても、調査研究成果を時代に即して適確に提供する役割をさらに進めるため、「海洋情報部研究報告」と名称を変更することと致しました。

本報告が、今後も調査研究成果の公表としてだけでなく、海洋情報活用の一助として広く利用されることを期待します。

（平成15年3月）